

第2回 椋の実句会2020年12月 兼題「極」

極太で編むクリスマスまでに編む (りん) 10点

◎小和楽…気合の入ったプレゼント。きつと間に合います。

けふ生きてきのふの枇杷の花にほふ (薑子) 点

◎あきら…辛く悲しい日を耐えて今日を迎えた人の希望を、明日は叶えたい。

冬かもめ汽水域とはここらまで (としこ) 点

◎雀…河口あたりの風景。かもめは海と川とを自在に飛んでいますね。のびやかな句。

大根を掛けて月極駐車場 (紀子みちこ) 点

◎節子…埋まらない駐車場のかな。いい味です。

あをそらに耳立つる馬初氷 (とちおとめ) 点

◎山口眞登美…初氷の新鮮さと耳を青空に立てる馬の仕草の初々しさを感じました。

どら声に尾を振る犬や酉の市 (ひろ子) 点

◎千津子…威勢の良い売り手の声にはしゃぐ犬。雑然とした空間に見え隠れする寿ぎ。

拍子木に冬三日月の極まりぬ (さや) 点

◎潤一…拍子木の乾いた音と冬三日月が響きあっている

極光を蒲団で思ふ後生楽 (しおのり子) 点

◎まきこ…見果てぬものをあれこれ想像するのは、愉快なもので、ましてや、蒲団の中で。悠然とした感じで納得です。

オリオンの傾ぎ月極駐車場 (イネ) 点

◎指月…建物に空が埋まる街でも駐車場の空だけは広いです！星座は確かに「傾ぎ」ます。

冬海にサーファー深き札をする (つぐみ) 点

◎野いちご…敬虔な姿勢感動です

煙突に雲の絵のある小春かな (三晴) 点

95 ◎としこ…青空。日差し。大きな煙突、雲の絵の描けるほどに。鬱々の日々、こんな小春日和を賜りたい。……